

令和7年度 第1回函館高等支援学校 学校運営協議会 記録

出席者 中村圭吾様、小林裕司様、有川祐樹様、喜久川三希子様、山崎敏昭様、須摩直樹様、
相原香織様、吉田尚美様、松田主査
欠席者 青田基様、細谷一博様、川井博光様、岩井丈様

1 日時 令和7年7月7日（月） 14時00分から15時30分まで

2 会場 北海道函館高等支援学校 1階会議室

3 本日の予定

- (1) 会長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 学校運営協議会設置の目的と基本方針について【教頭】（別紙）
- (4) 組織構成、事務局について【教頭】（別紙）
- (5) 学校運営について【校長】（別紙）
- (6) 教育活動について【教頭】（別紙）
- (7) HKS との連携について【吉田コーディネーター】
- (8) その他

記録

(1) 会長挨拶

- ・ マラソンの給水ボランティアなど、今までの活動から一歩前進して発展している。この場で色々なアイデアをいただきながら活動を進めていきたい。

(2) 校長挨拶

- ・ 開校から6年間の取組を継続発展しつつ、持続可能な安定した学校を目指す。様々なお知恵をお借りし協力いただきたい。

(3) 学校運営協議会設置の目的と基本方針について【教頭】

(4) 組織構成、事務局について【教頭】

- ・ (3) (4) についての詳細は、事前にお渡ししているものを御確認いただきたい。
- ・ 昨年までのメンバーから1名減。

(5) 学校運営について【校長】(別紙)

- ・ 6年間の取組を継続しながら発展していく。1学年5学級、全校生徒120名となる令和9年度以降に向けた持続可能で安定した学校を目指す。6年間の課題を洗い出し、10月には令和8年度の計画を出せるようにしていく。

(6) 教育活動について【教頭】(別紙)

- ・ 年間行事予定を基にカフェ、部活動、アビリンピック、外部での販売、文科省のモデル事業などについて説明。

※松田主査より文科省のモデル事業について概略説明

- ・ 亀田交流プラザで行われるコンファレンスについて。みなさんに御参加いただき、障がい理解の促進を進めたい。一緒にお勉強をしませんかというお誘い。
- ・ 松陰プラザ様にもいろいろな角度からお手伝いをいただく。

※須摩様より函館マラソンボランティアに参加しての感想

- ・ 生徒が声掛けなどとても良く頑張っていた。もっと函館高等支援学校のアピールをしても良いのではないかな。

(7) HKSとの連携について【吉田コーディネーター】

- ・ 花かいどう、マラソンボランティアへの参加、茶話会、学校祭の取組について説明。熟議や学校祭の出店についてのお誘い。

(8) その他